

2020年入学 大学2年生の大学生活等に関する調査

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）の研究機関・就職みらい研究所（所長：増本 全）は、2021年9月に「2020年入学 大学2年生の大学生活等に関する調査」を実施しました。調査結果をまとめましたので、ご報告申し上げます。

調査結果サマリ

コロナ禍により生活の様式が変化し、大学生は学生生活で身に付く体験に制約を受けることとなった。結果として採用選考時に学生がアピールするための経験（または人事が評価するための経験）が少ないという悩みの声が聞かれるようになった。そのような環境下で、大学生はどのように大学生活を送り、進路についてどのような意識・行動を取っているのかを明らかにするため調査を実施した。

【主な調査結果】

- 入学後の活動でオンラインでの実施割合が高いものとして「大学の授業・ゼミ・研究室」が最も高く、77.5%であった。
- 部活・サークルに所属していない学生が48.0%と半数近い一方、アルバイトをしている学生は75.4%と4人に3人が実施している。
- 大学入学時からの大学生活に満足している割合は39.2%で、不満の32.3%を上回る。
- 卒業後の進路を考えるときの気持ちは、不安が52.8%と半数を超える。
- 大学生活に満足している学生は、不満な学生と比べて入学後新たに「大学内の同学年の友人」以外に学外の友人、先輩・後輩など多様な人間関係を形成している割合が高い。
- 大学生活に満足している学生ほど、卒業後に就きたい仕事ややりたいことを見つけるために行動している割合が高い。

これまでの大学生活に満足している学生は約4割、不満な学生は約3割であった。大学入学後にできた人間関係が満足度と関係している結果が見られたことに加え、満足度の高い学生は卒業後の進路についての前向きな意識や行動にも相関が見られた。さまざまな活動が制約を受け、当初想定していた大学生活とは異なった環境ではあるものの、変化に対応しながら学内外の活動参加や人とのつながりを意識し、卒業後の進路について考え、学ぶ機会を作っていくことが求められる。

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.jp/support/form/>

コロナ禍により日常生活は一変したが、大学生活においてもそれは同様だ。

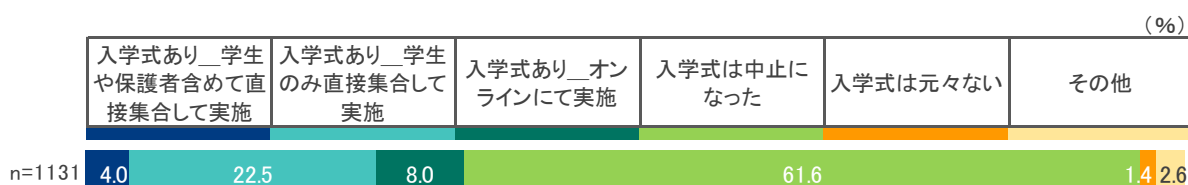
入学後しばらく緊急事態宣言下での活動を余儀なくされた2020年入学の大学生はこれまでの大学生活をどのように過ごしてきたのか。

まず彼らの入学式については、中止となった割合が61.6%と半数を超えており、学生生活開始時点でコロナ禍以前の大学生とは異なる学生生活を迎えた学生が多い様子が見えてくる。

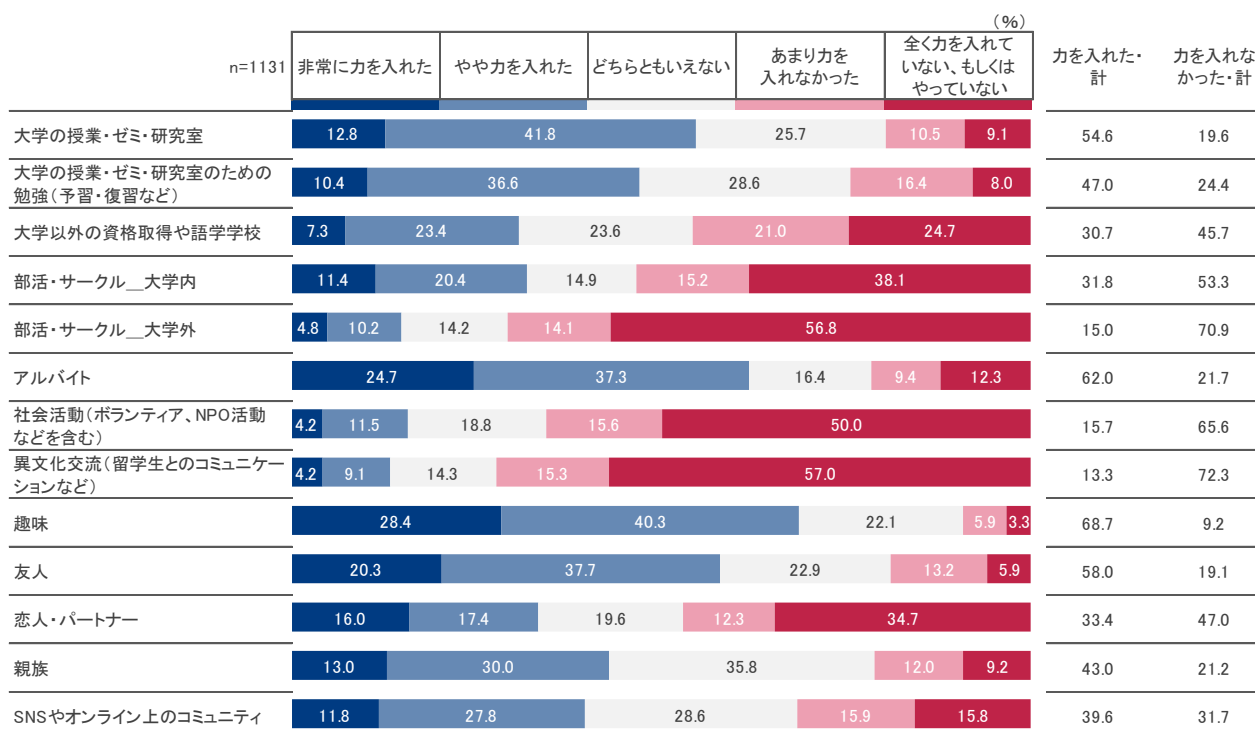
大学入学以降の活動・コミュニケーションの注力度としては、「非常に力を入れた」「やや力を入れた」を合わせた「力を入れた・計」として、「趣味」が68.7%と最も高く、「アルバイト」が62.0%、「友人」が58.0%、「大学の授業・ゼミ・研究室」が54.6%と続いた。

また、大学生が力を入れる活動として想起されやすい部活動・サークルについては、「部活・サークル__大学内」が31.8%、「部活・サークル__大学外」が15.0%という割合であった。

■ 大学の入学式の実施 (全体/単一回答)



■ 大学入学以降の活動・コミュニケーションの注力度 (全体/各単一回答)



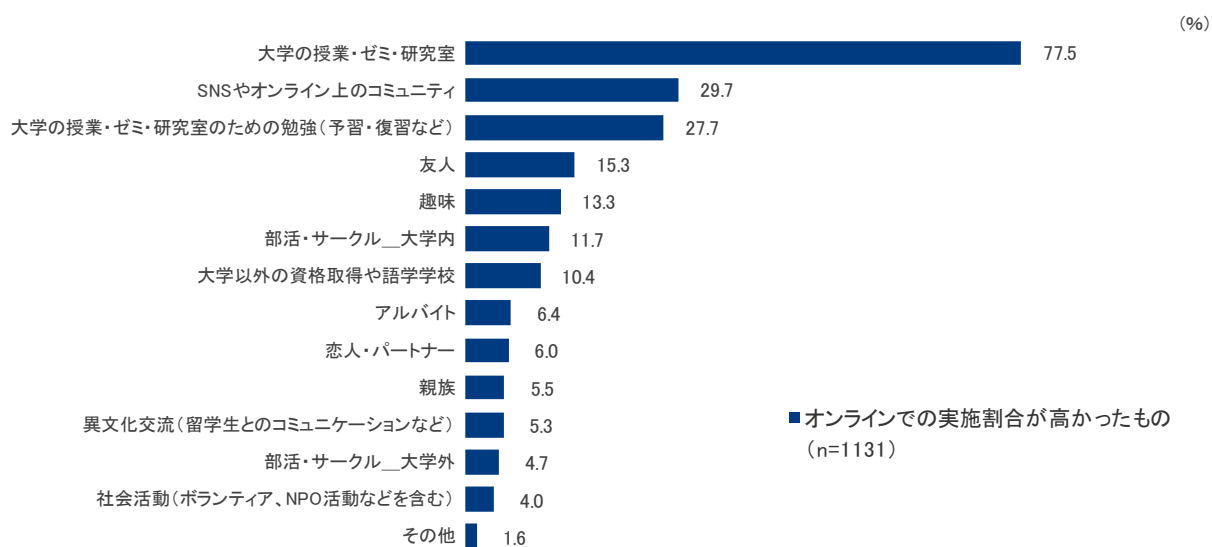
大学入学後の活動の中でオンラインでの実施割合が高かったものとしては「大学の授業・ゼミ・研究室」が77.5%と最も高く、大学への立ち入りが制限されるケースが見られた2020年においては、多くの学生がオンラインによる授業を体験してきたことが分かる。

一方で「部活・サークル_大学内」は11.7%、「アルバイト」は6.4%と、課外活動のオンライン実施割合は低い結果となっている。

部活・サークルへの所属状況を見ると、「部活やサークルには入っていない」が48.0%と最も高く、次いで「大学内のサークルに入っている」が29.0%であり、半数近くの学生が部活・サークルに所属していない状況が見られた。

また、アルバイトの実施状況については「アルバイトをしている」が75.4%と、4人に3人が実施している状況である。

■ 活動の中でオンラインでの実施割合が高かったもの (全体/複数回答)



■ 部活・サークルへの所属状況 (全体/複数回答)

		(%)				
		体育会系の部活に入っている	文化会系の部活に入っている	大学内のサークルに入っている	大学外のサークルに入っている	部活やサークルには入っていない
全体	n=1131	17.2	9.0	29.0	5.1	48.0

■ アルバイトの実施状況 (全体/単一回答)

		(%)	
		アルバイトをしている	アルバイトをしていない
全体	n=1131	75.4	24.6

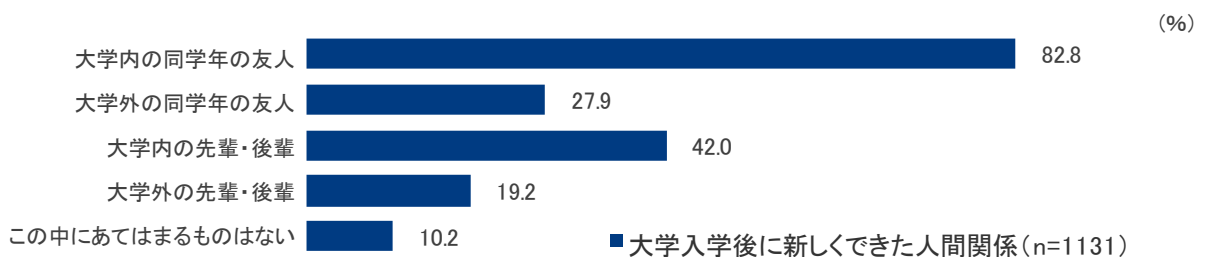
大学入学後に得られた人間関係

大学入学後に新しくできた人間関係については、「大学内の同学年の友人」が82.8%と最も高く、次いで「大学内の先輩・後輩」42.0%、「大学外の同学年の友人」27.9%であった。

大学入学後に新しくできた人間関係のうち、最も刺激を受けている関係は「大学内の同学年の友人」が55.3%と最も高い。一方で、「刺激はどの関係からも受けていない」が24.3%と2番目に高い結果となった。

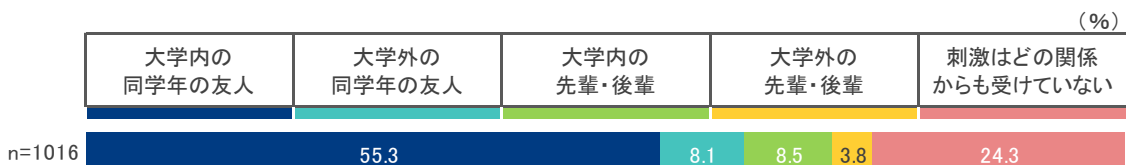
最も刺激を受けている関係が何の活動から得られているかを見ると、「大学の授業・ゼミ・研究室」が52.8%と最も高い結果となった。次いで「友人」「部活・サークル_大学内」「アルバイト」が3割前後で続き、刺激を受ける人間関係形成のきっかけは多岐にわたる様子が見られる。

■ 大学入学後に新しくできた人間関係 (全体/複数回答)



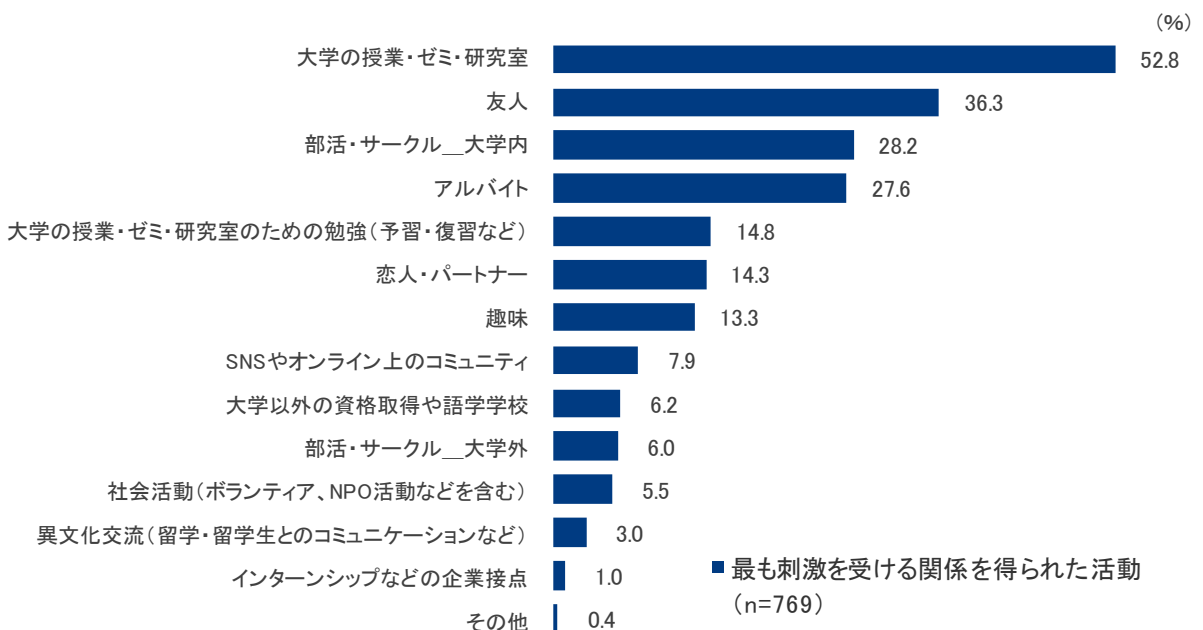
■ 大学入学後に新しくできた人間関係のうち最も刺激を受けている関係

(大学入学後に新しくできた人間関係の回答者/単一回答)



■ 最も刺激を受けている関係を得られた活動

(最も刺激を受けている関係の回答者/複数回答)

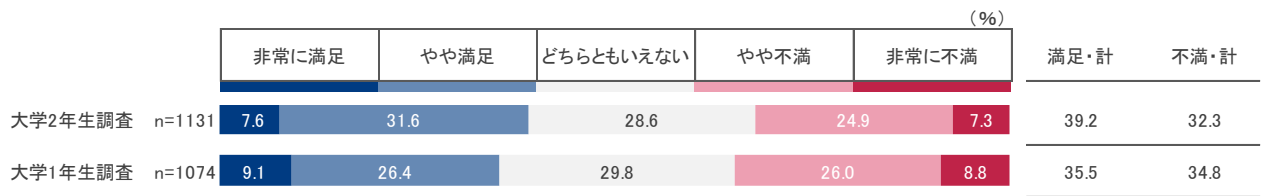


大学入学時から大学2年生9月時点までの大学生生活の満足度や、進路についての意識・行動について見る。満足度は、「非常に満足」「やや満足」を合わせた「満足・計」が39.2%と、「やや不満」「非常に不満」を合わせた「不満・計」32.3%を上回る。大学1年生3月時点では「満足・計」35.5%、「不満・計」34.8%であったため、2年生以降満足度がやや高まっている様子が見られる。

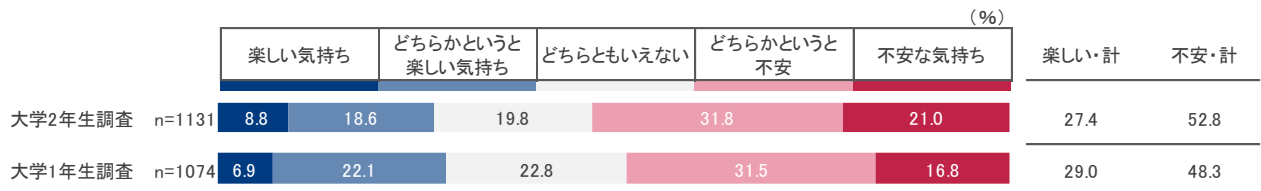
卒業後の進路を考えるときの気持ちについては、「楽しい気持ち」「どちらかという楽しい気持ち」を合わせた「楽しい・計」が27.4%、「どちらかという不安」「不安な気持ち」を合わせた「不安・計」が52.8%であり、大学1年生3月時点と比較して「不安・計」が増加した。

卒業後に働くことについての意識、卒業後に就きたい仕事ややりたいことを見つけるための行動については「意識している」「どちらかという意識している」の合計および、「行動している」「どちらかという行動している」の合計が、1年生時点と比べて増加している。

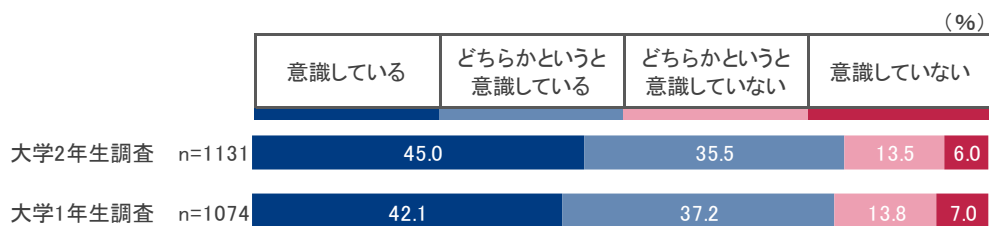
■ 大学入学時からの大学生生活の満足度 (全体/単一回答)



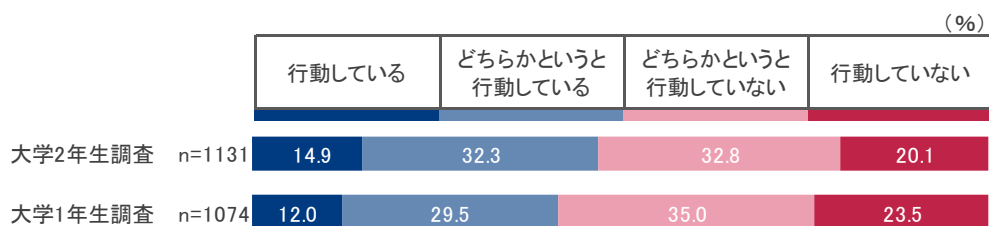
■ 卒業後の進路を考えるときの気持ち (全体/単一回答)



■ 卒業後に働くことについての意識 (全体/単一回答)



■ 卒業後に就きたい仕事ややりたいことを見つけるための行動 (全体/単一回答)



2020年入学の大学生の現状について見てきたが、多くの学生が対面での活動を制限される中、大学生生活の満足度と入学後の人間関係について分析した。

まず大学入学後に新しくできた人間関係だが、いずれの満足度においても「大学内の同学年の友人」が最も高いが、「非常に満足」において「大学外の同学年の友人」37.2%が他と比べて高いことが分かる。また、「大学内の先輩・後輩」についても「非常に満足」で52.3%、「やや満足」で50.1%と他と比べて高い。

大学入学後に新しくできた人間関係のうち最も刺激を受けている関係については、「非常に満足」から「やや不満」まで「大学内の同学年の友人」が最も高いが、「非常に不満」では「刺激はどの関係からも受けていない」が最も高い結果となった。

「大学内の同学年の友人」については授業などで接点を持つ機会が多いが、「大学外の同学年の友人」や「大学内の先輩・後輩」はサークルやアルバイトなどのなんらかのコミュニティに所属しなければ接点を持つ機会は少ないだろう。ましてやオンラインでの活動が増えた現在の環境下ではなおさらだ。コミュニティへの参加できる機会が希少となる中、刺激を受けられるような人間関係づくりは、大学生生活の満足度を高める上で改めて重要性が高いといえそうだ。

■ 大学生生活満足度別_大学入学後に新しくできた人間関係 (全体/複数回答)

(%)

		大学内の 同学年の 友人	大学外の 同学年の 友人	大学内の 先輩・後輩	大学外の 先輩・後輩	この中にあ てはまるも のではない	
全体	n=1131	82.8	27.9	42.0	19.2	10.2	
大学生生活 満足度別	非常に満足	n=86	83.7	37.2	52.3	24.4	9.3
	やや満足	n=357	84.3	26.9	50.1	20.4	7.6
	どちらともいえない	n=323	81.7	28.8	36.2	15.8	12.7
	やや不満	n=282	84.4	26.6	40.8	20.6	8.2
	非常に不満	n=83	73.5	24.1	22.9	16.9	19.3

■ 大学生生活満足度別_大学入学後に新しくできた人間関係のうち

最も刺激を受けている関係 (大学入学後に新しくできた人間関係ありとの回答者/単一回答)

(%)

		大学内の 同学年の 友人	大学外の 同学年の 友人	大学内の 先輩・後輩	大学外の 先輩・後輩	刺激はど の関係か らも受け ていない	
全体	n=1016	55.3	8.1	8.5	3.8	24.3	
大学生生活 満足度別	非常に満足	n=78	57.7	15.4	11.5	3.8	11.5
	やや満足	n=330	59.7	7.3	10.6	4.2	18.2
	どちらともいえない	n=282	55.3	8.2	7.4	3.2	25.9
	やや不満	n=259	53.3	6.9	6.2	3.5	30.1
	非常に不満	n=67	38.8	7.5	7.5	6.0	40.3

大学生生活満足度別_最も刺激を受けている関係が得られた活動

大学入学後に新しくできた人間関係のうち、最も刺激を受けている関係がどのような活動から得られたかを大学生満足度別に見ると、全体と同様にいずれの満足度においても「大学の授業・ゼミ・研究室」が最も高い。

また、「非常に満足」の特徴として、「大学以外の資格取得や語学学校」15.9%、「部活・サークル_大学外」11.6%、「社会活動（ボランティア、NPO活動を含む）」11.6%、「異文化交流（留学・留学生とのコミュニケーションなど）」10.1%、「インターンシップなどの企業接点」5.8%などが他の満足度の学生と比べて高い。この結果から大学外での活動も大学生生活の満足度をより高めるきっかけになっているのではないかと考えられる。

「非常に不満」はサンプルが40と少ないため参考値とするが、「大学の授業・ゼミ・研究室」の割合が30.0%と「全体」の52.8%と比べて低く、学び方やその場でのつながりも影響しているのではないかと考えられる。

■ 大学生生活満足度別_最も刺激を受けている関係が得られた活動

(最も刺激を受けている関係ありとの回答者/複数回答)

(%)

			大学の授業・ゼミ・研究室	大学の授業・ゼミ・研究室のための勉強(予習・復習など)	大学以外の資格取得や語学学校	部活・サークル_大学内	部活・サークル_大学外	アルバイト	社会活動(ボランティア、NPO活動などを含む)
全体		n=769	52.8	14.8	6.2	28.2	6.0	27.6	5.5
大学生生活満足度別	非常に満足	n=69	52.2	13.0	15.9	33.3	11.6	31.9	11.6
	やや満足	n=270	58.9	16.3	7.4	32.2	6.7	29.3	5.2
	どちらともいえない	n=209	53.6	14.8	4.3	24.4	3.8	23.9	5.3
	やや不満	n=181	48.1	13.3	3.9	26.0	6.1	28.7	3.9
	非常に不満	n=40	30.0	15.0	2.5	22.5	2.5	22.5	5.0

			異文化交流(留学・留学生とのコミュニケーションなど)	趣味	友人	恋人・パートナー	SNSやオンライン上のコミュニティ	インターンシップなどの企業接点	その他
全体		n=769	3.0	13.3	36.3	14.3	7.9	1.0	0.4
大学生生活満足度別	非常に満足	n=69	10.1	14.5	31.9	21.7	7.2	5.8	0.0
	やや満足	n=270	3.3	15.6	36.3	14.4	6.3	0.4	0.4
	どちらともいえない	n=209	1.9	10.0	34.4	15.3	9.6	0.5	1.0
	やや不満	n=181	1.1	13.3	42.0	11.6	8.3	1.1	0.0
	非常に不満	n=40	2.5	12.5	27.5	7.5	10.0	0.0	0.0

※「非常に不満」 n=40は参考値

大学生生活の満足度によって進路についての意識・行動にも差異があるか分析を行ったところ、「非常に満足」では「楽しい気持ち」が34.9%と最も高く、「非常に不満」では「不安な気持ち」が50.6%となっており、大学生生活満足度が高い学生ほど、卒業後の進路を考えるとときに楽しい気持ちである割合が高く、不満な学生ほど不安な気持ちの割合が高いという結果が見られた。

卒業後に働くことについての意識は、満足度にかかわらず「意識している」が最も高い。卒業後に就きたい仕事ややりたいことを見つけるための行動は、「非常に満足」では「行動している」、「やや満足」「どちらともいえない」では「どちらかというと行動している」、「やや不満」では「どちらかというと行動していない」、「非常に不満」では「行動していない」が最も高く、満足度によって差が見られる。

■ 大学生生活満足度別_卒業後の進路を考えたときの気持ち (全体/単一回答)

(%)

		楽しい気持ち	どちらかという と楽しい	どちらともいえない	どちらかという と不安	不安な気持ち
全体	n=1131	8.8	18.6	19.8	31.8	21.0
大学生生活 満足度別	非常に満足 n=86	34.9	26.7	10.5	16.3	11.6
	やや満足 n=357	11.8	27.5	19.9	30.5	10.4
	どちらともいえない n=323	5.0	15.2	25.4	33.4	21.1
	やや不満 n=282	3.9	13.1	17.0	37.6	28.4
	非常に不満 n=83	1.2	3.6	16.9	27.7	50.6

■ 大学生生活満足度別_卒業後に働くことについての意識 (全体/単一回答)

(%)

		意識している	どちらかという と意識している	どちらかという と意識していない	意識していない
全体	n=1131	45.0	35.5	13.5	6.0
大学生生活 満足度別	非常に満足 n=86	68.6	16.3	7.0	8.1
	やや満足 n=357	44.3	41.2	10.9	3.6
	どちらともいえない n=323	39.0	39.0	13.9	8.0
	やや不満 n=282	46.5	31.6	17.4	4.6
	非常に不満 n=83	42.2	30.1	16.9	10.8

■ 大学生生活満足度別_卒業後に就きたい仕事ややりたいことを見つけるための行動

(全体/単一回答)

(%)

		行動している	どちらかという と行動している	どちらかという と行動していない	行動していない
全体	n=1131	14.9	32.3	32.8	20.1
大学生生活 満足度別	非常に満足 n=86	38.4	22.1	29.1	10.5
	やや満足 n=357	17.9	35.0	32.5	14.6
	どちらともいえない n=323	9.9	35.3	34.4	20.4
	やや不満 n=282	11.3	29.4	34.4	24.8
	非常に不満 n=83	8.4	28.9	26.5	36.1

■2020年入学 大学2年生の大学生活等に関する調査

調査目的：大学2年生の大学生活や価値観、将来イメージ等を明らかにする

調査方法：インターネット調査

調査対象：全国の2020年大学入学の大学2年生

調査期間：2021年9月30日～10月10日

調査回答数：1131人

■2020年入学 大学1年生の大学生活等に関する調査

調査目的：大学1年生の大学生活や価値観、将来イメージ等を明らかにする

調査方法：インターネット調査

調査対象：全国の2020年大学入学の大学1年生

調査期間：2021年3月18日～24日

調査回答数：1074人

《調査結果を見る際の注意点》

- ・上記2つの調査結果をグラフに使用する場合、大学2年生調査、大学1年生調査と記載している。記載のないものについては大学2年生調査を使用している。
- ・%を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計値と計算値が一致しない場合がある
- ・データは無回答サンプルを除いて集計している

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人一人のライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、メディア&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、4万6,000人以上の従業員とともに、60を超える国・地域で事業を展開しています。2020年度の売上収益は2兆2,693億円、海外売上比率は約45%になります。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人一人が輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここがない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>